

男女共同参画情報コーナー



～一人一人が幸せを実感できるまちへ～

【編集】＝「とらいあんぐる」編集員

【問合先】＝本庁企画政策部 ひとみらい政策課
ひとみらい政策グループ

☎(23)5111(内線4741)

男女共同参画フォーラム
in 薩摩川内 開催レポート
(前編)

7月2日(日)、国際交流センターにおいて、「男女共同参画フォーラム in 薩摩川内」が開催されました。

これは、市民が集い、情報・意見交換を進めながら、男女共同参画社会へのさらなる

高めるために実施されたもので、約300人が参加しました。



みとめあい そだち愛 つなげよう未来へ

「生きづらさ」をほどく

■基調講演

NPO法人にじろC A P 代表理事
重永侑紀氏を講師に迎え、「『生きづらさ』のはじまり」を演題に、基調講演が行われました。

重永氏は、アメリカ発祥のプログラムである「子どもへの暴力防止 通称C A P」の資格を取得し、平成11年、にじろC A Pグループを設立。福岡・佐賀県を中心に、ユニセフが提唱する「子どもにやさしいまちづくり・人づくり」を実践されています。

【講演の概要】

- 幼少期に受けたあらゆる暴力が大人になってからも影響を及ぼし、生きづらさを感じるきっかけになり得る。
- 暴力に対するトラウマで自尊心が育たず、自己評価の低い大人になる。
- 子どもに安心・自信・自由をたくさん体験させる。
- 日ごろから声掛けをし、子どもの声に耳を傾けることが大切。



▲重永氏による基調講演

【来場者の感想】

- ・とても勉強になりました。人の気持ちを聴ける人になりたいです。
- ・子どもの気持ちや子どもとの関わり方が分かった気がします。
- ・子どもは守られるべき存在であり、孤立させないことの大切さを感じました。
- ・講演内容が自分にも当てはまるものが多く、参考になりました。子どもには否定的な言葉を使わず、自尊心を育てる言葉遣いに努めたいです。

*開催レポート(後編)は次回お伝えします。

第7期女性チャレンジ委員会の活動がスタートしました

5月24日(水)、第7期薩摩川内市女性チャレンジ委員会委員への委嘱状交付式と第1回全体会が行われました。



全体会では、女性チャレンジ委員会アドバイザーたもつゆかり氏による「男女共同参画の視点を踏まえるチャレンジ委員会の活動について」の講話がありました。

今期は委員25人で、2年間の任期中に、地域などにおける政策・方針の立案などを体験的に学習し、「地域づくり事業構想」を策定していきます。

*役員は次のとおりです。

- ・会長 鳥越裕美子氏
- ・副会長 錢原睦美氏
- ・書記 家村純子氏、南恵氏